

GREEN RANGER NEWS

2020年8月号

Vol.320



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■7月の活動報告

【定例会】(仙台市荒浜地区海岸防災林植林)7月12日(日)

宮城県・仙台市と協定書を交わした『みやぎ海岸林再生 みんなの森林づくり活動』も3年目を迎えました。計測は、2019年の7月、12月に続いて3回目です。梅雨のさなか、大雨が心配でしたが、集合場所であるセンターハウスへの移動中は小雨で、計測を始めるころには雨が止んでくれました。私たちの植林地は、他の団体の木よりも大きく育ったヤマハンノキが目印で、遠くからでもよくわかります。思っていた以上に木の成長が早く、草の被覆度は十分、蔓はほとんどなし、の良好な状態でした。詳しくは仲村さんの報告書をご覧ください。



11時前に計測を終了、蔓取りは必要ないので他の団体の植林地を見学しました。クロマツが多い中、タブノキやサクラを植えたところもあり今後が楽しみです。11時にセンターハウスに着き、早めの昼食となりました。建物の中は、コロナ対策のため距離を取ってテーブルが置いてあり、残念ながら話し合いができません。間もなく清掃ボランティアの団体さんが入ってきたため、早々に解散となりました。建物を出るころには雨が強くなり、雨の合間に計測ができたのはラッキーでした。(参加者:13名)

【森の教室】(お茶にする薬草採取、学習会)7月26日(日)

朝、作業小屋へ向かう途中、鎌先温泉を過ぎたあたりから霧が出てきて、どんどんどん濃くなり、前も左右も全く見えない状態になった。ライトをつけ速度を落として、目の前の白線だけを頼りに進んだ。長年通っているけれど、これ程の濃霧に遭遇したのは初めてだった。今日は、雨が降ったり止んだりの空模様だった。午前中は動物の生態観察用カメラの確認を行った。クマ用に設置した彩遊の森のクワの大木のカメラには、見事に待望のクマが写っていた！木に登ってクワの実を食べる様子が撮影できて、感動した。皆さん、会のホームページでぜひ見てください。午後は、薬草のアマチャヅルを採集する班と、カメラの設置をする班に分かれて活動した。薬草は多くの種類を採集できるので、健康のためにも関心を持つことが大切だと思う。自宅に持ち帰ったアマチャヅルを蒸してから炒って飲んでみたが、あまり味がしない。ポットに入れて時間をおいてから飲むほうが良いようだ。カメラは、まだ撮影できていないリス用に、ツリーハウス近くの平均台の傍に設置してみた。近くのスギの皮がはがれていることから、リスがいると判断したため。さあ、撮影できるかどうか、次回の定例会が楽しみ！（参加者4名）



1. 植林木について

① ヤマハンノキ、オオバヤシャブシ、ハンノキ(パイオニアプラント)

ヤマハンノキについては、2020年の末頃までに2mにはなしてほしいと思っていたので、ほぼそれは達成されそうである。オオバヤシャブシとハンノキも順調に伸びているのでパイオニアプラントについては、全く問題ないと思われる。

② ケヤキ

成長についてはほとんどはマイナスとなっている。しかし、多くのものは活着はしており、中には根元から萌芽しているものも見受けられる。今後は個別にそのまま伸ばすか、幹切りをして萌芽させるか判断していきたい。

③ ウワミズザクラ、カスミザクラ、コナラ、イタヤカエデ いずれもほぼマイナス成長となっている。これ等も、ケヤキと同様、幹切りをして萌芽させる方法をとりたいと思っている。

④ アカシデ、イヌシデ

イヌシデは思っていた以上に樹勢が良く、今のままの状況を見守っていきたい。アカシデはその逆で、悪いので幹切りをする予定である。

⑤ ミズキ

この木も、今のままの状況を見守って行きたいと思っている。

⑥ シロヤナギ

挿し木苗の小さいものを植えたので、今は成長できていないがこれから伸びてくれるものと思っている。(自然に入ってきたシロヤナギの成長は非常に良い)。

⑦ ブナ 2019年12月に見たときには今にも枯れそうであったが、下部の枝が生きており、もしかしたら持ち直すかも知れない。

⑧ アベマキ

アベマキは昨年12月の植林なので今年は活着しただけでいいと思う。樹勢は悪くないので、来年以降は伸びてくれそうである。

2. 草本類について

昨年目立っていたのは、ヤハズソウ、ウマゴヤシの仲間、ツルマメ等であったが、ツルマメ、ヤハズソウは昨年ほどの勢いはなくなってきている。前記の3種はいずれも地表面を這うような丈の低い草本である。今回目立ったのは、伸びれば1mを越えるヒメムカシヨモギ、ホッスガヤ、マツヨイグサの仲間などである。残念ながらススキはまだ目立つ程にはなっていなかった。しかし、草本類の遷移が確実に進んでいる事はまちがいない。

3. 他の生物について

木の葉を食べるマイマイガの幼虫(毛虫)が、ヤマハンノキの葉を集団で食害していた。白石市との共有地では、1本の木を丸裸にしたりはしているが、ここでは今のところ大量発生は見られない。他にも名前がわからない毛虫1種、カナブン、テントウムシ等が確認された。アリについてはもう来ているかもしれないが、ミミズはまだいないものと思われる。イラガの幼虫はいたはずであるが、無理に確認はしなかった。

4. 所感

一言で言えば、植林木が枯死する時期がクリアできた事にホッとしている。12月の作業は何をすればいいかも、植林木が教えてくれている。パイオニアプラント以外の樹種は、葉の大きさも小さいし色も悪いので、まだ死んだふりの状態である。それでも枯死はほとんど見られないし、幹枯れを起こしているものも根元から萌芽したりもしているので、植林後1年7カ月にしては、とてもいい状態だといえる。ヤマハンノキは予想通り先に伸びて防風帯となってくれている。来年以降は、根粒菌による肥料木効果も少しずつ出てくるものと思われる。枝打ちも必要になってくるはずである。思った以上に元気なのがアベマキである。まだ本来の葉の大きさではないが、色は良い。他の広葉樹とは一線を画す状態である。やはり海岸には強い木のようなのだ。

ミツデカエデとイヌザクラは、いまだ行方不明である。

荒浜海岸植林木生育調査

調査日:2020年7月12日

(2018. 12. 9植樹)

植林木樹高(cm) 左欄は2019年7月28日調査

ヤマハンノキ	
① 105	155
② 105	165
③ 135	216
④ 120	180
⑤ 155	226

ケヤキ	
① 140	125
② 115	136
③ 105	90
④ 110	98
⑤ 130	110
⑥ 145	126
⑦ 140	130
⑧ 120	115
⑨ 140	140
⑩ 140	110

コナラ	
① 85	55
② 110	35
③ 150	102
④ 110	85
⑤ 120	116

カスミザクラ	
① ? (88)	80
② 125	120
③ 170	170
④ 110	110
⑤ 95	90

ウワミズザクラ	
① 60	45
② 95	55
③ 90	80
④ 70	30
⑤ 105	110

アカシデ	
① 70	66
② 80	45
③ 70	67

イヌシデ	
① 120	98
② 130	140
③ 115	125

イヌシデ	
① 120	98
② 130	140
③ 115	125

ミズキ	
① 50	48
② 70	80
③ 115	40

イタヤカエデ	
① 55	60
② 60	30

シロヤナギ	
① 50	40
② 20	54

アベマキ	
① 75	80
② 98	100
③ 104	100
④ 85	105
⑤ 90	100

オオバヤシャブシ	
① 45	110

ブナ	
① 45	24

ハンノキ	
? 未確認	92

(注) アベマキ、左欄は2019. 12. 8植林時
斜体数字は成長が確認されなかったもの。

■8月の活動案内

[定例会]

集合時間 8月9日(日) 10時
集合場所 作業小屋
内 容 樹木名板設置

[森の教室]

集合時間 8月23日(日) 10時
集合場所 作業小屋
内 容 未定(事務局にご確認ください)